

決定された対応方針は以下のとおりです。

会社で決定した事後評価対応方針

評価対象区間	評価結果及び対応方針
近畿自動車道名古屋神戸線 (亀山 JCT～大津 JCT)	<p>【評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none">○直接便益（時間短縮・経費減少・事故減少）を対象とした費用便益比は5.7である。 高速道路整備による時間短縮、一般道の混雑度の低下、事故率の低下などの効果が確認された。○当該路線の開通により、日本の大動脈である名神高速道路とダブルネットワークを形成することにより、東西の人、物の流れが円滑になるとともに、事故、災害等に対する信頼性も向上。○沿線地域においても企業立地促進、観光客数増加、救急医療支援など、様々な効果が発現している。 <p>【対応方針】</p> <ul style="list-style-type: none">○当該区間の開通により、時間短縮等多くの効果が確認された。○今後、事業中である四日市 JCT～亀山西 JCT、大津 JCT～神戸 JCT の整備により、ダブルネットワークによる信頼性向上などの更なる効果が発揮されるものと期待されることから、早期開通に向け事業を進めていく。
近畿自動車道紀勢線 (御坊～南紀田辺)	<p>【評価結果】</p> <ul style="list-style-type: none">○直接便益（時間短縮・経費減少・事故減少）を対象とした費用便益比は2.0である。 高速道路整備による時間短縮、一般道の混雑度の低下、事故率の低下などの効果が確認された。○対象区間の開通により、沿線地域へのアクセス性が向上し、<ul style="list-style-type: none">・高速バス路線の新設、運行便数の増加により利便性が向上・企業立地促進、地域特産品販路拡大、観光客数増加により地域産業が発展・医療機関への搬送時間が短縮し、地域の救急医療を支援・災害時の緊急輸送路として、地域の安全安心に貢献など、様々な効果が発現している。 <p>【対応方針】</p> <ul style="list-style-type: none">○当該区間の開通により、時間短縮等多くの効果が確認された。○今後、田辺市以南のネットワーク延伸により、更なる効果が期待されることから、事業の円滑な進捗が図られるよう協力するとともに、地域との連携を図りながら利用促進に努める。○また、路線全体の利便性を向上させるためには、ボトルネックとなっている区間の交通渋滞を改善する必要があり、加えて地震などの災害時に備えた防災道路としての機能強化も必要である。 今後対応策について検討し、諸対策に取り組んでいく。